



奈良市議会だより

No.166
令和8年5月1日発行

3月定例会

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目一番一号 奈良市議会事務局 ☎(0742)34-4734
■発行/奈良市議会 ■編集/奈良市議会広報広聴委員会

令和9年夏までに 中学校体育館に空調を設置

災害対策用に発電機も導入へ

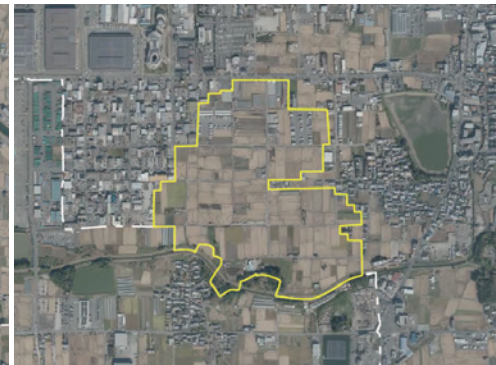


令和8年4月から
中学校部活動の
地域移行が始動

新クリーンセンター 調査費修正案可決



大和田町



北之庄町

※表紙のイラストは生成AIにより作成したものです。



議案や質問内容等は市議会ホームページで更に詳しくご覧いただけます。次回の議会だより第167号は令和8年8月1日発行予定です。

奈良市議会 議会だより



学校と地域を支える施策が前進

中学校体育館への空調設備と非常用発電機の設置が決定

中学校体育館への空調設備と非常用発電機の設置が決定しました。空調は、設計・納期の短縮が見込める電気式スポット型を採用します。あわせて、市は市内を10ブロックに分けて可搬型の非常用発電機を配置し、停電時には必要な区域へ迅速に移動させて運用する計画です。議会では、防災対応の強化と生徒の健康を守る猛暑対策の早期実施を重視し、令和9年夏までの整備完了を要望すると共に、非常用発電機については、二次避難所（中学校）10か所への設置に加えて、残りの二次避難所（中学校）への設置の検討も求めました。

中学校部活動の地域移行 令和8年4月から実施へ

教員の負担軽減と地域との連携を目的とした「中学校部活動の地域移行」が実施されます。市は指導員約290名を確保し、平日・休日共に部活動指導を地域クラブへ移行する方針です。

議会では安全確保や指導体制、保護者への周知を課題に挙げ、地域移行を休日から段階的に実施することや、中学校体育連盟と連携し、子ども達の大会参加機会を確保することなどを求めてきました。少子化の中でも安定してクラブ活動を続けられるよう、学校と地域

の協力の下で持続可能な仕組みづくりを目指して議論を進めていきます。

新クリーンセンター候補地 調査費の修正案を可決

市議会は、令和8年3月定例会で新クリーンセンター建設候補地3地区（七条町・北之庄町・大和田町）を比較・検討するための調査費として市長から提案された約8600万円の補正予算案のうち、七条町分の2500万円を減額して修正可決しました。

この補正予算案は、令和7年9月定例会で市長からの提案を受け、新クリーンセンターの建設等に関することを議会で調査するために設置された「ごみ焼却施設等検討特別委員会」に付託され、審査が行われてきました。同委員会で七条町分の調査費を減額する修正案が可決され、本会議に報告されてきました。

本会議では、この修正案に対して、七条町はクリーンセンター建設計画策定委員会を選定された候補地の一つであり、建設地を決定する議論に必要な判断材料を減らすことになるとして反対する意見もありましたが、地元住民から提出された新クリーンセンターの建設に反対する複数の請願を議会で採択していることから、七条町の調査を行うことは認められないという声が多く修正に至りました。

住民理解へ向けた議論進む

鼓阪小学校と佐保小学校の統廃合巡る請願を採択

令和8年3月定例会では、請願第1号「若草中学校区学校規模適正化計画について」の合意形成の徹底等に関する請願が採択されました。

若草中学校区学校規模適正化計画は、少子化などに対応し、鼓阪小学校と佐保小学校の統合を軸に、新校舎建設や通学方法などを検討するものです。請願は、児童・保護者・地域住民との合意形成が不十分なまま同計画が進められていることへの不安から、令和7年9月定例会に提出され、観光文教委員会が審査が行われてきました。同委員会では、情報提供の在り方や通学の安全、地域住民が参加しやすい意見交換の場づくりなどが議論され、「合意形成に課題が残る」として請願を採択すべきものと決定されました。

本会議では、統合準備が進む中での採択は計画の遅れや財政負担（国からの負担金の減額）につながるとして、慎重な判断をすべきという反対の意見があった一方で、市が説明責任を果たしていないことから、「当事者との対話を丁寧に行い、直すべき」との意見が多数あり、請願第1号の採択に至りました。

クリーンセンター建設計画の見直しを求める請願を採択

令和8年3月定例会では、請願第2号「奈良市クリーンセンターの建設計画を一旦白紙に戻し、基本的に見直すことを求める請願」も採択されました。この請願は、七条町、北之庄町、大和田町の3か所を候補地とするクリーンセンター建設計画策定委員会（以下「策定委員会」）からの答申を受け、七条町を選定した過程、公害調停及び策定委員会の答申の効力、焼却施設の建設コスト等について再検証を求めるもので、令和7年9月定例会に提出され、市議会の「ごみ焼却施設等検討特別委員会」で慎重に審査が続けられてきました。

採決に当たっては、候補の3地区は策定委員会において総合評価点が高かった上位3地区であるため、公正・公平に3地区を調査すべきであるとして請願に反対の意見があった一方で、七条町の住民の理解が十分に得られていない状況の中、住民の不信感と分断が深まることを避けるためにも、請願に賛成して七条町を候補地から外すべきとの考えが示され、請願第2号は採択されました。

鼓阪小学校統合・閉校 関連経費

鼓阪小学校の統合・閉校に関する経費として、記念誌や記念品、関連行事、スクールバス関連の予算が計上されました。しかし、統合について児童・保護者・地域住民の合意形成が十分になされているのか確認できず、当事者の理解が整っているとは言えないと判断されたことから、学校規模適正化推進経費のうち、閉校記念品費126万5000円、行事用消耗品費13万5000円、閉校記念誌費130万3000円、スクールバス運行経費120万円の合計390万3000円が減額されました。



病院事業会計への貸付金

市立奈良病院の経営支援として、一般会計から病院事業会計へ10億円を無利子で長期貸し付けを行い、それを財源として市立奈良病院の指定管理者である地域医療振興協会へ貸し付けるという内容でした。しかし、借り入れの理由や返済方法を示す事業計画書、資金計画書、担保物件、無利子とする理由が示されておらず、多額の税金を貸し付けることの妥当性と必要性を十分に説明できていないと判断されました。そのため、一般会計から病院事業会計への貸付金、また、特別会計からの貸付金である10億円が減額されました。



月ヶ瀬温泉のボイラー整備費

月ヶ瀬温泉のボイラーが更新時期を迎えることから、重油式ボイラーから薪式ボイラーとのハイブリッド方式への設備更新が提案されました。しかし、審議の中で、多額の事業費や方式の変更ありきの提案は妥当ではなく、薪燃料の安定確保には、長期の乾燥期間の確保や、自伐型林業振興、林道整備が必要であるなど、現時点で供給体制が十分とは言えないという意見や、燃料費の削減効果は見込めるものの、数億円単位に跳ね上がる高額投資に見合う費用対効果や回収の見通しに課題が残るといった意見があり、設計業務委託費1900万円のうち1250万円と整備工事費3億9000万円が薪式ボイラー導入に関する経費として減額されました。

令和8年度当初予算案を約15億円減額修正

生ごみ減量施策

市は、生ごみを焼却せずに処理することで、ごみの焼却量の減量化を図るために、衛生浄化センター内に生ごみ処理機を設置する経費として約2億9000万円を当初予算案に計上しました。しかし、この施策は、市民には無償で協力を求める一方、事業者には協力金を支給する内容であることから、政策形成過程における検討内容や市民協力など、事業の妥当性に課題があると判断されました。そのため、モデル事業に積極的な協力が得られる市民だけに絞って、その家庭から排出される分量に見合った処理機を購入する経費など約1億2500万円は認められたものの、事業者向けの施策分1億6800万円は減額されました。

東部地域・学校給食委託 関連経費

都祁学校給食センターの老朽化に伴い、令和9年度から東部地域の小中学校7校の給食調理業務と配送業務を社会福祉法人に委託する経費については、施設の老朽化対策として一定の必要性が認められるとの考えが示された一方で、柳生小学校、興東小学校、興東館柳生中学校で調理後2時間以内の喫食が確実に確保できるのか、また、提供が困難な場合に保存食を冷たいまま提供する可能性があるとの説明に不安が残るとの保護者の声があり、当事者の理解が得られているとは言えないと判断されたため、債務負担行為（※将来支払うべき費用のことで、予算の内容の一部として設定され、当初予算には含まれない）5億1800万円が減額されました。





3月5日・6日・9日の本会議では、32人の議員（うち代表質問7人）が質疑・一般質問を行いました。

代表質問は質問と答弁の要旨、個人質問は質問・意見の概要を掲載しています。（発言順）

質疑・一般質問の詳細については、掲載しているQRコードを読み取ることで市議会ホームページの録画中継等で確認することができます。

代表質問



公明党
田畑日佐恵

中学校体育連盟の大会

教育委員会の整理と見直し
子ども達にとって、中学校体育連盟の大会は、努力の成果を発揮し、次の目標へと挑戦するための重要な枠組み

において、この大会の枠組みはどのように維持されるのか、教育委員会としての整理と見直しは。

教育長 大会への参加について、部活動改革を推進するため、国において、大会等の参加資格を学校単位に限定することなく、地域クラブや複数校合同チーム等の参加を更に促進するよう示されている。本市では、基本的には地域クラブとして大会に参加できるよう進めていくこととなるが、競技団体ごとに出場に必要な条件が設定されているため、令和8年度の団体登録を一旦、学校として行い、生徒の大会への参加機会が確保されるよう対応しているところである。今後も市や県の中学校体育連

盟との連携を密にし、適時必要な対応を行っている。



〈他の質問項目〉

- ・東部の学校給食の運営
- ・子育て支援施策（産後ケア事業・こども誰でも通園制度）の充実について



日本維新の会
北邨 翔平

部活動地域移行による効果は

問 中学校部活動の地域移行で得られるメリットは何か。

教育長 生徒にとっては、体系的な知識や専門性を有する指導者による指導を受けられ、教員自身にとっても、子ども達に向き合う時間や教材研究に取り組む時間が確保しやすくなり、教員が専門性をより一層発揮して、生徒に充実した学びの場を提供できるようになると考えている。

猿沢池での温泉事業の狙いは

問 温泉事業の狙い、期待していることは何か。

市長 市の観光課題である冬の来訪ニーズの創造、滞在時間の延長や宿泊ニーズの底上げにつながると考えている。宿泊客や滞在客の回遊性を促

進し、周辺商店街も巻き込んだ経済波及効果が期待できる。



〈他の質問項目〉

- ・NEXT25について
- ・きたまちエリアについて
- ・第5次総合計画後期推進方針について
- ・屋内運動場空調設備
- ・新クリーンセンター建設



自由民主党
太田 晃司

大和西大寺駅周辺の都市像は

問 駅南北ロータリー整備が一段落したが、開かずの踏切問題、北側市有地活用事業の入札不調、南側民間施設の老朽化といった課題は、県市連携が不可欠だと考える。県とどのように協議を行っているのか。また、南北一帯での再構築ビジョン策定の考えは。

市長

令和7年12月以降、県・市・近鉄の部長級で3回会議を実施し、方向性の調整を行っている。未来に向けたまちづくりには、都市機能の集積を図り、歩行者中心の魅力ある都市空間を形成することが重要であり、様々な技術革新も念頭に置いて、地域の方

々と共に議論を深めたい。



ポイント制度終了後の行方は

問 市ポイントの利用が令和8年12月で終了する。継続的に参加してきた市民へのフォローはどのように講じるのか。継続や整理の考え方は。

市長 ポイント対象事業のうち、市公式アプリ「SHIKANOASHIATO」を活用してポイント付与を継続するもの、ポイント付与は廃止するが事業は継続するもの、事業自体を廃止するもの、3つに整理し、継続する事業については、参加者に丁寧な説明を行いながら、スムーズに移行できるよう努めていく。



自民党・無所属の会
塚本 勝

大和西大寺駅周辺まちづくり

問 西大寺駅周辺の渋滞踏切対策について、関係者との協議状況は。また、対策の一つである大和中央道若葉台工区における新年度の取り組みは。

市長 県・市・近鉄の3者で、交通実態の把握、高架化や周辺道路整備による効果などの推計の実施に向けて調整して



おり、今後、高架化の必要性や費用対効果、高架化以外の速効性のある対策の在り方を議論していく。

若葉台工区に関しては、現在事業認可取得に取り組んでいるところであり、取得後は地権者の方々に対して事業への理解や協力を得ていきたい。



※若葉台工区の整備区間



日本共産党
山口 裕司



中学校等へのエアコン設置整備スケジュールは

問 令和7年12月定例会では

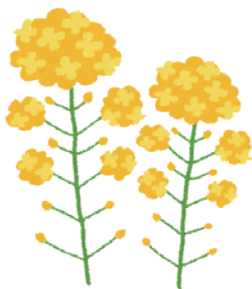
一律電気式での導入が問題となり、中学校等の工事予算が削減されたが、近年の夏の猛暑を考えると、速やかなエアコン設置が必要と考える。8年度予算案に中学校体育館等への空調設置として23億4000万円が計上されたが、どのように整備を進めるのか。

市長 災害時に復旧が早い、電気式のスポット型空調機での整備を進め、停電時の対策については、非常用の発電機の配備を追加した。新年度の早い段階で入札を実施し、工事業者の決定等を進める。早いところでは秋頃の設置が可能と考えている。スピード感を持って対応していきたい。



〈他の質問項目〉

- ・ 憲法9条を守り生かすことと自衛隊への個人情報提供
- ・ 選択的夫婦別姓、同性婚、ジェンダー平等について
- ・ 未就学児の子ども医療費助成一部負担金について



市民ひろば
樋口清二郎



市内の駅前広場整備方針

どのようになっているのか

問 交通渋滞や利用状況などを考慮すれば、近鉄学園前駅の駅前整備を考えていく必要があるのではないか。

市長 北側のロータリーについては鉄道事業者の所有地ということもあり、一般道路とは異なる管理体制となっている。北側周辺は通勤・通学時間帯の送迎車両による渋滞が常態化しており、また、信号がない横断歩道を渡る歩行者の安全性が大きな課題であると認識している。

令和8年度は、学園前駅北口ロータリー付近のほか、道路が狭く車両と歩行者で混雑している菖蒲池駅南口、西ノ京駅西側の調査を行う。



〈他の質問項目〉

- ・ 市債（借金）増額に伴う財政への影響、見直し
- ・ 中学校体育館エアコン設置
- ・ 児童への熱中症対策
- ・ 部活動の地域移行
- ・ 環境清美工場の維持管理費
- ・ クリーンセンター渋滞対策
- ・ 高齢者のごみ出し支援
- ・ 高齢者の移動支援
- ・ 公共交通（路線バス）維持
- ・ 認可外保育園への支援（ICTの補助、法定代理受領）

未来の会
岡本 誠至



いじめ問題への現状の対応

直ちに条例改正を

問 「いじめ」が起きた際に、被害者の求める対応がなされる体制は整っているのか。

教育長 調査委員会の立ち上げに当たり、弁護士への推薦は弁護士会が要望する委員報酬に合わないという話を令和7年度当初に聞いていた。直近で発生したいじめ重大事態において、弁護士会には報酬額を理由に推薦を断られている。

問 委員会を開こうにも、条例で定める報酬額が壁となっていて開催できない。しかもそれが年度当初から分かっているから、1年もの間条例を改正

しなかった。いじめ重大事態が起きて委員が開かれず、被害児童がづらい思いをする期間が引き延ばされている現状をどう考えているのか。

市長 今、2つのいじめ重大事態について調査の準備をしているが、速やかに調査を行い、被害を受けた子どもに對して適切な対応を行っていくことが市としても求められていると思うので、早急に改善を図りたい。



〈他の質問項目〉

- ・ 令和13年開催の国スポの施設整備・体制整備方針
- ・ 公共交通の将来的見直し
- ・ 部活動地域展開の在り方
- ・ 市が抱える政策課題における議論の在り方

議案等の議決結果とその賛否

今号の議案等の議決結果とその賛否については、紙面の都合上掲載を省略しています。

下記QRコードからご覧いただけます。



個人質問

公明党

山口 寛

- 小学校給食費負担軽減について
- 中学校の部活動について
- 生ごみの減量化について



日本維新の会

木下 修平

- 奈良監獄ミュージアムとホテル開業後のきたまちにおけるにぎわい創出施策と地域との共生
- 消防団による防災防犯効果の向上



自由民主党

井久保裕也

- 東部振興計画について
- 「てん茶」の生産支援の背景／針テラスのバイパス線整備の目的と概要



自民党・無所属の会

榎本 博一

- 誰でも参加できる子ども食堂を地域コミュニティ増進に生かすべき
- 柳生地区の観光資源をもっと有効に活用すべき



日本共産党

北村 拓哉

- 令和8年度部活動地域移行の展開
- バス停ベンチ整備費など新年度の公共交通関係予算
- 公共施設空調整備の予防保全予算



市民ひろば

柿本 元気

- 公正な選挙のため投票やSNSについてルール改正すべきでは
- 上下水道管の補修ペースを早め、事故を防ぐ取り組みが必要では



未来の会

下村 千恵

- 移住・定住促進事業について
- 施策のPDCAサイクルについて



無所属

江川 友梨

- 小学校における英語教育の意義と体制の充実
- 小学校での動物飼育の教育効果、教員負担と動物福祉を鑑みた代替方法



公明党

早田 哲朗

- 高齢者の健康寿命の延伸と社会参加の促進について
- 自転車安全対策と生活道路の整備
- 市立学校図書館の充実について



日本維新の会

中川 康

- 鴻ノ池運動公園の集客と整備
- デジタルを活用した特定保健指導
- 製薬会社等との産官学連携でのCOPD(慢性閉塞性肺疾患)対策



自由民主党

八尾 俊宏

- 家庭系ごみ収集運搬業務について失格になるにもかかわらず予定価格の約1.5倍の金額で入札があったが、何か意図があるのではないか



自民党・無所属の会

鍵田美智子

- 市の単独世帯の取り組みについて
- 人口構造の認識／孤立を未然に防ぐ取り組み／多死社会と制度の限界／葬祭の新たなモデル



日本共産党

白川健太郎

- 2歳児の待機解消に向けた市立保育園・こども園での受け入れ拡大について
- 今後の救急需要の増加への対応



市民ひろば

阪本美知子

- 在宅避難は平時に近い生活環境が保たれるため進めてほしい
- 幼保再編の最終の形が決まるまで民間移管は立ち止まるべき



未来の会

階戸 幸一

- 令和7年度一般会計補正予算に計上された防災対策経費9600万円により大規模災害発生時における避難所での生活改善を図ることについて



無所属

へずまりゅう

- 水条例案の進ちよくについて
- 企業局に提案した水条例案の活用
- 市長直轄のいじめ対応部署の導入



公明党

九里 雄二

- 高齢者のコロナワクチン補助の拡充
- 大和中央道若葉台工区と大和西大寺駅の高架化について
- 学校でのオンライン英会話の充実



日本維新の会

柳田 昌孝

- 中学校部活動の地域移行について
- 農業政策における未耕作地の利用、担い手不足の解消について
- 生ごみ減量化への取り組みについて



自由民主党

植村 佳史

- 死亡数増加とコロナワクチンの関係
- 第3子の児童手当の増額について
- 災害時の市職員の食糧確保と公用車のガソリン給油について



自民党・無所属の会

横井 雄一

- 椿井小学校きこえの教室及び通級指導教室における教員体制を、児童・保護者が安心して在籍できる充実した体制にすることについて



無所属

松下 幸治

- 全国民の人材データベース化事業を起業すれば時価総額1兆円企業になることが想定されるが、積極的に進める考えはあるか



日本維新の会

佐野 和則

- にぎわい創出と収益性向上を理由に市はシルキア奈良への県ビクターズビューローの入居を断ったが、その後の見通しはどうなっているのか



無所属

松尾 浩司

- インフルエンザによる学級閉鎖数はコロナ禍前の約4倍に増加しているため、小児にもワクチン接種費用の補助が必要ではないか



無所属

尾崎 暢子

- 外国人材を無制限に受け入れる政府方針に対する市長の見解と財政支援を国に求める考えについて
- 宗教上の理由による土葬について



無所属

松石 聖一

- 亀山駅はリニア新幹線の間駅候補であることから、亀山駅から鉄道でつながる市北部へのリニア新駅の誘致活動を活発に行うべきではないか



奈良市議会
ハラスメント防止条例を制定

奈良市議会は、令和7年1月に全職員・議員を対象として行ったハラスメントに関するアンケート調査結果を踏まえて、ハラスメントの防止に向けた取り組みの一つとして、奈良市議会ハラスメント防止条例(令和8年4月1日施行)を制定しました。

この条例では、議員からハラスメントを受けた職員・議員からの求めに応じて、外部の弁護士等で構成された調査委員会が調査を行い、委員会からハラスメントがあったとする報告がなされたときは、ハラスメントを行った議員の氏名及びその内容を公表することとしています。

この条例により奈良市議会は、議員と職員が互いに敬意をもって向き合い、ハラスメントを決して許さない議会風土を築くことで、市民の皆様から信頼される議会であり続けることを宣言するものです。

市議会だよりに対する
ご意見を募集します

奈良市議会広報広聴委員会では、市議会だよりに対する意見を募集しています。

ぜひ市議会だよりに対する意見をお寄せください。

提出先 奈良市議会事務局

TEL : 0742-34-4734

FAX : 0742-35-3022

Mail : gijichousa

@city.nara.lg.jp



予算決算委員会

この定例会では、人事案件を除く令和8年度一般会計予算等の48件を予算決算委員会に付託しました。

委員会は3月9日に資料を要求し、12日・16日・17日・18日・19日に5つの分科会で審査を行い、24日に各分科会委員長の報告を受けた後、総括質疑を行いました。

総括質疑の後、委員より8年度一般会計予算に対して組み替え動議1件、修正案2件及び8年度病院事業会計予算に対する修正案1件がそれぞれ提出され、採決の結果、8年度一般会計予算及び病院事業会計予算については修正すべきもの、一般会計予算の修正案1件と組み替え動議については否決すべきものと決しました。

外46件については、原案どおり可決または同意すべきものと決しました。

各分科会での主な質疑項目、意見は次のとおりです。

ここでは、質疑のあった項目、意見のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継をご覧ください。

○総務分科会

- 10億円の貸し付けに至った経緯、目的と無利子の理由
- 図上訓練と従来の防災訓練との違いとその必要性
- 部活動の地域移行に係る指導員の人数、賃金の見込み
- 子育て移住・定住応援補助金の積算根拠と事業の効果
- 万博で得られた知見・経験
- 万博の成果を生かした施策
- 病院事業における貸付金10億円が不良債権化する恐れ
- 子育て移住・定住応援補助金の市としての展望
- 中卒採用による職員の確保
- オンライン行政手続きに対するポイント付与の考え
- 財政調整基金の計画的な積み立て
- 予算未計上の重点支援臨時交付金5億円の取り扱い
- システム標準化に係る移行経費と今後の運用経費
- 指定避難所や小型備蓄倉庫への食料備蓄の考え

○観光文教分科会

- 東部地域における学校給食の地域運営
- 鼓阪・佐保小学校統合によるスクールバス運行
- 東部地域の茶産産地化の数値目標と作付面積
- 東部地域の学校給食に係る

保護者説明と今後の対応

- 統合再編前提のスクールバス経費の必要性とその詳細
- 近鉄奈良観光案内所整備による利用者増や消費拡大
- 学校図書館ガイドラインを踏まえた各校の運営方針
- 東部地域学校給食の運営方針決定過程と有事の対応
- 図書館司書の学校支援と学校図書館の今後の在り方
- 他校の児童生徒とのネット交流における安全管理
- 熊対策の取り組み内容
- 不登校支援の取り組み
- 修学旅行支援補助金9000万円で見込まれる効果
- 現在のスクールバス運行における苦情や要望
- 災害に備えた発電機が配備されない中学校への対応
- 全小学校への市費教員配置

○厚生消防分科会

- 市社協に委託する就労準備支援業務は実施できるのか
- 市立看護専門学校再試験料及び再実習料
- 市消防団の活動環境整備と団員確保
- 市立病院指定管理者への長期貸し付け
- 保育教育士の有給休暇や産休・育休取得状況の推移
- 児童虐待相談対応件数増加

に対する職員のケア

- 窓口業務委託の効果と懸念
- 子育て世帯SNS相談業務委託試行の効果検証
- 各種ワクチンの優先順位と費用対効果への市の認識
- 隠れ待機児童への市の認識
- 里親支援事業経費における委託料増額の内訳と原因
- 犬猫殺処分ゼロ推進経費に計上された新項目の詳細
- 妊産婦等生活援助事業の概要と目的・今後の展望
- 新型コロナワクチン接種の自己負担額と接種見込み数

○市民環境分科会

- 東部出張所建設の事業内容
- と今後の予算化の見込み
- 月ヶ瀬温泉整備事業の核心を説明書に記載しない理由
- 月ヶ瀬温泉整備事業における薪ボイラーの導入理由
- 鴻ノ池陸上競技場の大型ビジョン設計以降の検討
- 鴻ノ池陸上競技場の大型ビジョンの詳細と運用経費
- 循環型社会推進事業と従来の生ごみ処分のコスト比較
- ジェンダー平等推進におけるAI活用の取り組み
- 放置自転車返還率向上対策
- ポイント制度継続に対する市民の不安や不満
- 鴻ノ池陸上競技場の大型ビ

ジョンの市民利用

- 連絡所の統廃合の検討状況
- 新斎苑建設に係る地域還元
- 関連事業計画の新年度予算
- 大乘院庭園の魅力・機能向上と併せた利用者増加施策
- 洪水浸水想定区域における文化施設への止水板設置
- 寺山靈苑納骨堂の管理費増額理由と利用申請者数
- 鴻ノ池コートのトイレ改修

○建設企業分科会

- 路線バス維持における費用負担額の算定根拠
- 公営住宅空家率と募集状況
- 上下水道の建設改良に係る起債と資本費平準化償返済
- 水道事業での生成AI活用
- タクシー利用促進事業における実績と結果の受け止め
- J R奈良駅前駐車場整備における止水板設置の効果
- 水道標準プラットフォームと料金システム構築費
- 高の原における今後のまちづくりビジョン
- 針テラスバイパス道路の概要、進ちよく、今後の方針
- 六条奈良阪線街路整備の進ちよくと用地買収の見直し
- 平城山駅のスロープと新大宮駅周辺の点字ブロック
- 黒谷公園・中登美ヶ丘近隣公園の利活用